

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム けやき

## 目標達成計画書

作成日: 平成 25 年 08 月 30 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	37	災害対策	年2回、地域の消防団の協力を得て、避難訓練を実施しているが、全員が避難する時間がかかりすぎるので、実際の火災を想定し、目標時間を半分に設定し、夜勤者一人で9人の利用者を安全に避難させる体制を築いていく。	夜間の災害時に、利用者9人を1人の職員で、全員を無事に救出することの困難さを実感し、管理者2人が、5分で駆けつける体制があるので、地域住民とも、連携を図り、利用者を安全に、避難場所に避難させる体制を整えていく。	12ヶ月
2		地域福祉の拠点を目指す	地域の高齢化が進む中で、高齢者や家族の抱える問題は大きく、特に、認知症に関しては、専門的な知識を持ったグループホームの職員の協力が不可欠であるので、地域と協力して、解決に向けて取り組んでいく。	職員のレベルアップを図り、経験や知識を磨き、介護力をつけた職員が多いので、公民館や、ホームを開放し、高齢者の介護相談や、独居老人の安否を確認していく等の取り組みをしていく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。